

矢崎エナジーシステム株式会社

お客さまご相談窓口

ガス機器事業部	053(925)4511
[北海道] 札幌	011(852)2914
[東北] 仙台	022(284)9114
[関東] 東京	03(5782)2702
埼玉	048(654)2071
[中部] 名古屋	052(769)1532
静岡	054(283)1151
[関西] 大阪	06(6458)8185
[中国] 広島	082(568)7802
[四国] 高松	087(833)3335
[九州] 福岡	092(411)4834

※機器に異常がある場合は、ご自分で修理なさらずにガス事業者、または最寄りのお客さまご相談窓口にご相談ください。

なお、当社ホームページにおいてもご案内申し上げます。

URL: <https://www.yazaki-group.com>

※電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。



766831-8-012

空気より軽い12A・13Aガス用

ガス・CO 警報器 キャッチャー

YAZAKI

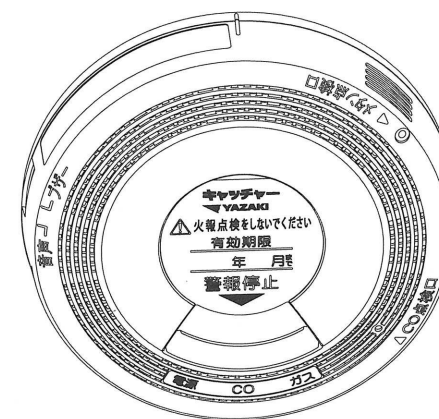
家庭用・業務用兼用

一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格品

取扱説明書

保証書付

形式名 YF-765



本品をご採用いただきありがとうございます。

この取扱説明書は、ガス・CO警報器の取扱方法を説明します。

お使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、内容をご理解した上でお取り扱いください。

本取扱説明書は、末頁に保証書がついています。

お手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

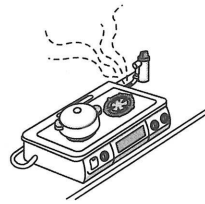
本書を紛失された場合は、ガス事業者または最寄りの矢崎エナジーシステム株式会社にお問い合わせください。

この取扱説明書では、本品を「警報器」、一酸化炭素を「CO」と表記しています。

警報器の機能について

■ ガス警報機能・CO警報機能

警報器周囲のガスやCOが規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。



■ 外部機器連動機能

- 戸外ブザーや集中監視盤などを接続して、離れた場所に警報することができます。
- 連動遮断システムに接続し、警報を発した時、自動的にガスを止めることができます。

《お断わり》

- ガス検知部にガスやCOが到達しないときは、警報機能が働きません。
- ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。
- ガスもれやCOによる損害を防止することを保障するものではありません。
- ガスもれやCO発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取付場所近くでのガスもれやCO発生には警報を発しますが、他の部屋で発生したガスやCOには警報を発しないことがあります。

もくじ

はじめに

● 警報器をご使用になる皆さま及び施工される方へ	
安全上のご注意	1
対象ガス	2
各部のなまえとはたらき	3
警報器のお知らせ機能について	4
使用方法	7

警報器が作動したら

● 警報器をご使用になる皆さまへ	
警報器が作動したら	8
1 『赤(ガス警報)ランプまたは黄(CO警報)ランプが点滅しているときの処置のしかた』	8
2 『ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と鳴ったときの処置のしかた	8
3 『ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置のしかた	9
4 『ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか』と『ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください』が交互に鳴ったときの処置のしかた	9
5 部屋の外から警報音に気づいたときは	10
6 処置をしても警報音が鳴りやまないときは	10
7 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた	11
ランプ表示・音声出力の事象一覧表	12

取り扱い

お手入れのしかた	13
警報器の取り外し・取り付けかた	14
噴霧式殺虫剤を使用するときは	14
点検方法について	16

その他

故障かな?と思ったら	19
アフターサービスについて	20
廃棄について	20
仕様	21

施工

● 施工される方へ	
施工される方へのお願い	22
取り付け前の確認	22
取付位置の確認	23
電気工事要領・取り付けかた・外部機器への連動接続	25
取り付け後の確認・点検(お客さま立会いのもとで実施)	28
お客さまへの説明について	31

保証書	32
-----	----

はじめに

警報器が作動したら

取り扱い

その他

施工

安全上のご注意

はじめに

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

- 危険** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。
- 警告** 誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
- 注意** 誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性及び物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容	
	「必ず行う」事項を示しています。
	「火気厳禁」事項を示しています。
	「ぬれ手禁止」事項を示しています。
	「水ぬれ禁止」事項を示しています。
	「分解禁止」事項を示しています。
	「一般的な禁止」事項を示しています。

危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。爆発の恐れがあります。

- 必ず行う** ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。
- 火気厳禁** マッチやライターなど、火気を使わないでください。
- 禁止** 換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。
- 禁止** 警報器を取り外さないでください。
- 禁止** 部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

CO警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。

- 必ず行う** CO警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。
- 禁止** 部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

警告

- 必ず行う** 常に電源が入っていること(緑(電源)ランプ点灯)を確認してください。電源が入っていないとガスもれ、COが発生しても、警報を発生しません。
- 必ず行う** 水につけたり、水をかけたりしないでください。ショートや感電の恐れがあります。
- 必ず行う** 設置後、5年(有効期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。
- 必ず行う** 分解や改造はしないでください。故障の原因となります。
- 必ず行う** 衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 必ず行う** 警報器をお手入れするとき以外は、警報器を取り外さないでください。ガスもれ、COが発生しても、警報を発生しません。
- 必ず行う** ガス検知部は絶対にふさがないようにしてください。ガスもれまたはCOを検知しなくなります。
- 必ず行う** 煙感式住宅用火災警報器に用いられる点検ガスを噴霧しないでください。点検ガスにフロンが含まれている場合、ガスセンサの故障の原因となります。
- 必ず行う** 噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。(P14,15参照)
 - 警報器をポリ袋などで覆う。
 - 噴霧が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除く。
 誤作動の原因となります。
- ぬれ手禁止** ぬれた手で警報器の取り付け、取り外しをしないでください。感電する恐れがあります。

注意

- 必ず行う** 警報器をお手入れするときは、必ず警報器を取り外してください。感電やけがの原因となります。
- 必ず行う** 警報器の取り外し・取り付け・点検を行うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。
- 禁止** 取付位置を移動させないでください。警報の遅れの原因となります。取付位置を変える必要が生じたときは、ガス事業者にご相談ください。
- 禁止** 警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。ラジオなどにノイズ(雑音)が入ることがあります。警報器から距離を離してお使いください。
- 禁止** 警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。警報の遅れの原因となります。

対象ガス

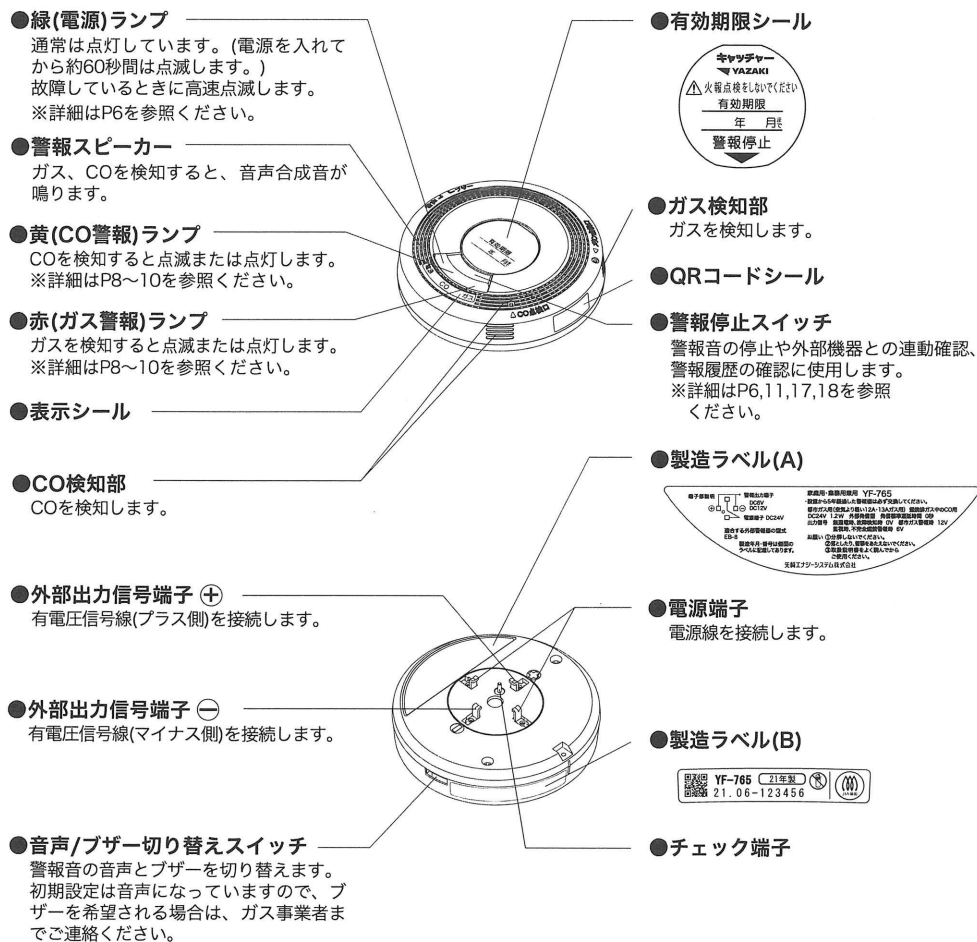
注意

- この警報器は都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)及び燃焼排ガス中のCOを検知します。
- 都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)供給区域外ではお使いにならないでください。

はじめに

各部のなまえとはたらき

はじめに



ランプのつきかたについて

取扱説明書中のランプの点灯、点滅、高速点滅、遅い点滅は次のように動作します。

点灯	連続して点灯	
点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.5秒周期)	点滅周期
高速点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.3秒周期)	点滅周期
遅い点滅	点灯と消灯の繰り返し (3秒周期)	点滅周期

警報器のお知らせ機能について

ガス・CO警報機能

本警報器は、下表の警報音により警報が作動したことをお知らせします。

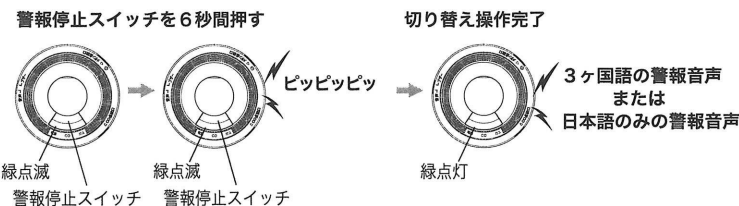
警報内容	警報音	
	音声設定時	ブザー設定時
ガス警報	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか	ウーウー ピッピッピッピッ
CO警報	ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	ウーウー ピッポッピッポッ
ガス・CO複合警報	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか ↕ 交互に鳴る ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	ウーウー ピッピッピッピッ ↕ 交互に鳴る ウーウー ピッポッピッポッ

※音声設定時に、切り替え操作を行うことで、3ヶ国語(日本語+英語+中国語)の警報音でお知らせすることもできます。初期設定は日本語のみとなっておりますので、お客さまのお好みで切り替え操作を行ってご使用ください。(3ヶ国語設定時の音声内容は、下表の通りです。)

警報内容	3ヶ国語設定時の警報音
ガス警報	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか Is there a gas leak 请检查有没有漏气
CO警報	ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください Air is dangerously contaminated Ventilate by opening a window 室内空气不好有危险, 请开窗换气
ガス・CO複合警報	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか Is there a gas leak 请检查有没有漏气 ↕ 交互に鳴る ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください Air is dangerously contaminated Ventilate by opening a window 室内空气不好有危险, 请开窗换气

<警報音声の切り替え方法>

警報停止スイッチを6秒間押し続け、「ピッピッピッ」と鳴ったら警報停止スイッチを離してください。緑(電源)ランプが点滅から点灯に変わり、3ヶ国語の警報音声または、日本語のみの警報音声で1回鳴ります。



※警報音声の詳細については、それぞれ上表の通りです。

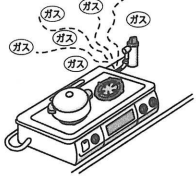
はじめに

警報器のお知らせ機能について

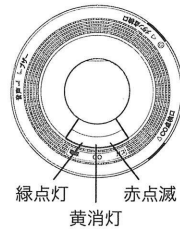
はじめに

ガスがもれたときは

警報器周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。



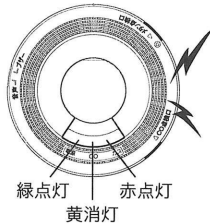
ガス注意報
P8参照



ガス警報
P8,10参照

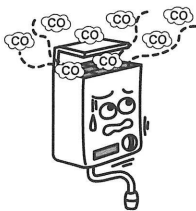
ウーウーピッピッピッピッ
ガスがもれていませんか

ブザー設定時:ウーウーピッピッピッピッ

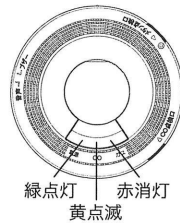


ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは

警報器周囲のCOが規定濃度以上になると作動します。低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。(低濃度が約5分間継続した場合も警報が作動します。)



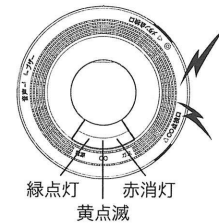
CO注意報
P8参照



約5分後

ウーウーピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

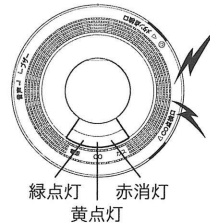
ブザー設定時:ウーウーピッポッピッポッ



CO警報
P9,10参照

ウーウーピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

ブザー設定時:ウーウーピッポッピッポッ



はじめに

ガスのもれとガス機器の不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは

警報器周囲のガスとCOが規定濃度以上になると作動します。

P9,10参照

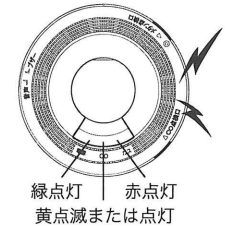
ウーウーピッピッピッピッ
ガスがもれていませんか

ブザー設定時:ウーウーピッピッピッピッ

交互に鳴る

ウーウーピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

ブザー設定時:ウーウーピッポッピッポッ



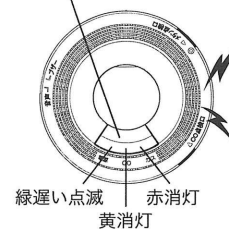
有効期限が過ぎたときは

有効期限が半年以上過ぎたときは、緑(電源)ランプが遅い点滅(3秒毎に2秒点灯)となり、有効期限が過ぎていることをお知らせします。

- 警報停止スイッチを約1秒間押すと、「ピッ 有効期限が切れています 販売店に連絡してください」が鳴ります。
- 電源を再投入すると、60秒後に「正常です」が鳴らずに「有効期限が切れています 販売店に連絡してください」が鳴ります。

※ガス事業者までご連絡ください。

警報停止スイッチ



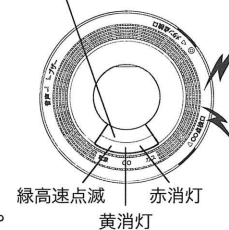
ピッ
有効期限が切れています
販売店に連絡してください

故障しているときは

故障が発生すると、「故障です 販売店に連絡してください」が1回鳴り、緑(電源)ランプが高速点滅します。その後は「ピッピッピッ 故障です」と約1分毎に繰り返し鳴り、約10分毎に「故障です 販売店に連絡してください」が鳴ります。それ以降も同じ動作を繰り返します。警報停止スイッチを押すと、故障音は約36時間鳴りやみます。ただし、緑(電源)ランプの高速点滅は止まりません。

※ガス事業者までご連絡ください。
※外部機器と連動している場合、故障音停止中は外部機器の連動動作は停止します。

警報停止スイッチ



「故障です
販売店に連絡してください」
その後、
約1分毎に
「ピッピッピッ 故障です」
約10分毎に
「故障です
販売店に連絡してください」

使用方法

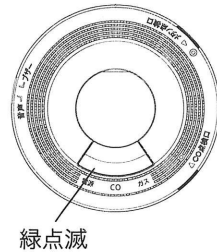
はじめに

1 警報器を取付ベースに差し込む。 (電源投入)

緑(電源)ランプが点滅し、警報器が監視状態に入る準備状態になります。
この間にガスがかかっても本体は作動しません。



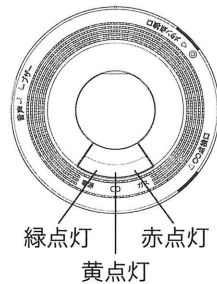
※取付ベースには方向性がありますので
ご注意ください。



2 電源を供給してから約60秒後、ランプが 全点灯した後、消灯します。

〈過去約10日以内に警報が作動した場合〉

過去に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。(P18参照)



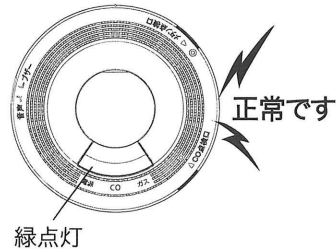
3 「正常です」と鳴って、監視状態(緑(電源) ランプが点灯)に入ります。

※通電開始から30日経過以降は、「正常です」と鳴らない仕様もあります。

〈有効期限が過ぎている/警報器が故障している場合〉

「正常です」とは鳴らずにP6に記載している有効期限切れ時または、故障発生時の動作となります。

※ガス事業者までご連絡ください。



● 警報器をご使用になる皆さまへ

警報器が作動したら

1 赤(ガス警報)ランプまたは黄(CO警報)ランプが 点滅しているときの処置のしかた

赤(ガス警報)ランプが点滅している場合、ガス注意報を意味しています。
黄(CO警報)ランプが点滅している場合、CO注意報を意味しています。

1 ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気を続けると、
ランプは消灯します。



2 原因を確認する。

ガス濃度やCO濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。
(P11参照)

《お断わり》

外部機器と連動している場合、ガス注意報、
CO注意報(黄ランプの点滅のみでありCO警
報音が鳴っていない状態)では外部機器は連
動動作しません。

※黄(CO警報)ランプの点滅が約5分間継続
すると、「ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚
れて危険です 窓を開けて換気してください」
と鳴り始めます。

2 「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」と 鳴ったときの処置のしかた

ブザー設定時・ウーウー・ピッピッピッピッ

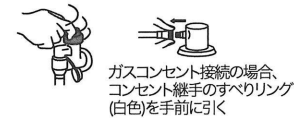
「ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか」と警報し、赤(ガス警報)ランプが点灯している場合、
ガス警報を意味しています。

ブザー設定時・ウーウー・ピッピッピッピッ

1 ドアや窓を開けて換気する。



2 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、
コンセント継手のすべりリング
(白色)を手前に引く

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴り やむ。【赤(ガス警報)ランプ消灯】



4 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、
ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなど
が考えられます。



⚠ 危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を
必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。



マッチやライターなど、
火気を使わない。



換気扇、電灯、蛍光灯
など電気製品のスイッチ
を入・切しない。



警報器を取り外さない。



警報器が作動したら

3 「ウーウー ピップピップッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と鳴ったときの処置のしかた

ブザー設定時:ウーウーピップピップッ

「ウーウー ピップピップッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と警報し、黄(CO警報)ランプが点灯している場合、CO警報を意味しています。

ブザー設定時:ウーウーピップピップッ

1 ドアや窓を開けて換気する。



2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。



3 COがなくなれば、警報音が鳴りやむ。【黄(CO警報)ランプ消灯】



⚠ 危険

警報音が鳴ったら、すぐに換気をし、使用中のガス機器をとめる。CO濃度が上昇し短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。

4 「ウーウー ピップピップッ ガスがもれていませんか」と「ウーウー ピップピップッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」が交互に鳴ったときの処置のしかた

ブザー設定時:ウーウーピップピップッとウーウーピップピップッが交互

ガス警報とCO警報を交互に発し、赤(ガス警報)ランプが点灯、黄(CO警報)ランプが点灯もしくは点滅している場合、ガス警報とCO警報の複合警報を意味しています。

ブザー設定時:ウーウーピップピップッとウーウーピップピップッが交互

1 ドアや窓を開けて換気する。



2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。



3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。【赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプ消灯】



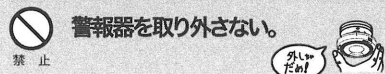
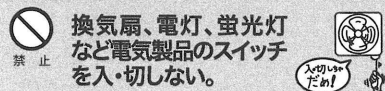
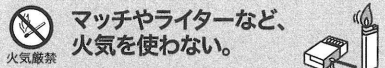
4 ガスもれやCO発生の原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



⚠ 危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。爆発やCO中毒の恐れがあります。



5 部屋の外から警報音に気づいたときは

1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。



2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。

メーターガス栓を開けるときはガス業者にご連絡ください。



3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプの消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



6 ガスもれやCO発生の原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

⚠ 危険

禁止 警報器が鳴っている間は、部屋の外からすぐに入室しない。爆発やCO中毒の恐れがあります。



おねがい

ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れなどにより、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプが点滅・点灯したり、警報音声が鳴る場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器は取り外さないでください。

6 処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

ガス事業者へ連絡する。



※外部機器と連動している場合は、P27を参照ください。

おねがい

- たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。
- ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

7 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスもれや、CO発生ではなく、空気の汚れにより赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴ったときは

1 ドアや窓を開けてしばらく換気続ける。

2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、ランプの点滅や警報音が止まる。



〈警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押すと、

●ガス警報音は1回だけ5分間止めることができます。

●CO警報は黄(CO警報)ランプが点滅しCO警報音が鳴っている場合のみ警報音を1回だけ5分間止めることができます。

※警報器周囲のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再びガス警報音、CO警報音を発します。

※外部機器と連動していて、かつ警報器周囲のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び連動します。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- 長い間閉め切られたお部屋や、高気密住宅などの換気回数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分(シリコンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス[エアコンの冷媒ガスなど])の作用により警報が鳴りやすくなる場合があります。また、まれに鳴り続けることがあります。
- 建材などから発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなる場合があります。また、まれに鳴り続けることがあります。

〈ガス警報・CO警報〉

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 芳香剤・香油(アロマオイル)などの濃いガスが警報器にかかっていませんか。
- 線香の煙が警報器にかかっていませんか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 長時間、部屋を閉め切っていませんか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていませんか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていませんか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 警報器の通常の電圧範囲はDC17~40Vです。それ以外で使用していませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 換気扇を回さずに大鍋(業務用)で湯を沸かしていませんか。点火初期時にCOが発生し、CO警報を発することがあります。



おねがい

ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れなどにより、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプが点滅・点灯したり、警報音声が発する場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器は取り外さないでください。

ランプ表示・音声出力の事象一覧表

表中の ○ はランプの点灯、☀ はランプの点滅を表しています。

ランプ			音声内容	事象	記載ページ
緑 (電源)	黄 (CO)	赤 (ガス)			
○ 点灯			なし	通常動作(監視中)	—
○ 点灯		☀ 点滅	なし	ガス注意報	P8
○ 点灯		○ 点灯	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか	ガス警報	P8
○ 点灯	☀ 点滅		なし	CO注意報	P8
○ 点灯	☀ 点滅		ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	CO警報	P8,9
○ 点灯	☀ 点滅	☀ 点滅	なし	ガス注意報とCO注意報	P8
○ 点灯	☀ 点滅	○ 点灯	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか	ガス警報とCO注意報	P8~10
○ 点灯	☀ 点滅	☀ 点滅	ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	ガス注意報とCO警報	P8~10
○ 点灯	☀ 点滅	○ 点灯	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか/ ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください(交互)	ガス警報とCO警報	P8~10
☀ 高速点滅			故障です 販売店に連絡してください (10分毎) ピッピッピッ 故障です(1分毎)	故障警報(警報器が故障診断機能により故障と判断した状態)	ガス事業者に連絡してください
☀ 遅い点滅			ピッ 有効期限が切れています 販売店に連絡してください (警報停止スイッチ操作時)	有効期限切れ(警報器の有効期限が半年以上過ぎた状態)	

※1 故障したときは、上記以外の表示音声が発する場合があります。

この場合、ガス事業者に連絡してください。

※2 警報音がブザー設定の場合、以下のように警報します。

ガス警報：ウーウー ピッピッピッピッ

CO警報：ウーウー ピッポッピッポッ

故障警報：ピッピッピッ (1分毎)

お手入れのしかた

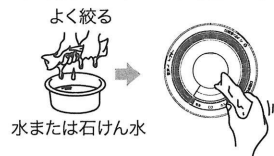
1 警報器を取り外す。(P14参照)

《お断り》

外部機器(インターホンなどの集中監視機器)と接続しているときは、警報器を取り外すと、外部機器で警報音(故障表示)が鳴ることがあります。

2 警報器及び取付部付近の天井面の汚れをふき取る。

警報器表面・天井面は、水または石けん水に浸してよく絞った布でふき取ってください。



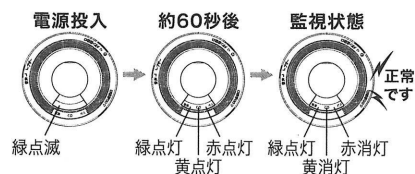
3 警報器を取り付ける。(P14参照)

警報器の電源が入ります。

緑(電源)ランプが点滅し、約60秒後ランプが全点灯した後消灯し、正常であれば「正常です」と鳴って緑(電源)ランプが点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。

異常があれば「故障です 販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。

※通電開始から30日経過以降は、「正常です」と鳴らない仕様もあります。



《過去 10 日以内に警報器が作動した場合》

電源を入れてから約60秒後ランプが全点灯した後に、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが約1秒間点灯します。(鳴動原因表示機能によるものです。)

おねがい

お手入れするときは、下記の点に注意してください。

- 警報器の内部に水を入れないでください。
- 中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。

アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤(ガス警報)ランプの点滅や、警報音が鳴りやまないことがあります。



警報器の取り外し・取り付けかた

<取り外しかた>

警報器を左方向(反時計回り)に回して取り外す。



<取り付けかた>

1 警報器を取付ベースに差し込む。

※取付ベースには方向性がありますのでご注意ください。



2 警報器を右方向(時計回り)に回して取り付ける。



⚠注意

警報器の取り外しは、高いところでの作業となりますので、安定した踏み台を使って十分に注意して行ってください。

転落、転倒、落下の原因になります。

⚠注意

●警報器を止まる位置まで右に回し、確実に固定されているか確認してください。

また、過度に回しすぎないように注意してください。

破損の原因になります。

●警報器の取り付けは、高いところでの作業となりますので、安定した踏み台を使って十分に注意してください。

転落、転倒、落下の原因になります。

取り扱いかた

取り扱いかた

噴霧式殺虫剤を使用するときは

⚠警告

噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。

警報器が作動しません。

警報器は取り外さないでください。

警報器の信号が外部機器と接続されている場合は、警報器を取付ベースから取り外すと、外部機器で警報音(故障表示)が鳴ることがあります。



⚠注意

警報器へのポリ袋の取り付け、取り外しは、高いところでの作業となりますので、安定した踏み台を使って十分に注意して行ってください。

転落、転倒、落下の原因になります。

噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。
次の処置を行っていただくと、警報器が鳴り出すのを防ぐ効果があります。

1 警報器をポリ袋で覆う

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器に必ず以下の処置をしてください。

天井面の素材が粘着テープによって傷む恐れのあるとき

【準備するもの】

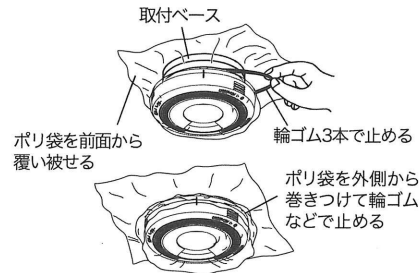
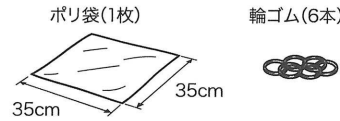
●ポリ袋 (35 cm × 35 cm ・ 1 枚)

ポリプロピレン製 (PP または >PP< 表示) が好ましいですが、ポリエチレン製でも一定の効果があります。

●輪ゴム (6 本)

【処置のしかた】

- ①ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、取付ベース部分を輪ゴムで止めてください。
輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかり止めてください。
- ②ポリ袋と天井の隙間から噴射ガスが侵入するのを防ぐため、輪ゴムで止めたポリ袋の上から取付ベースに添って、ポリ袋を1周まきつけて、輪ゴムなど(3本程度)で止めてください。



天井面の素材が粘着テープによって傷む恐れのないとき

【準備するもの】

●ポリ袋 (35 cm × 35 cm ・ 1 枚)

ポリプロピレン製 (PP または >PP< 表示) が好ましいですが、ポリエチレン製でも一定の効果があります。

●輪ゴム (3 本)

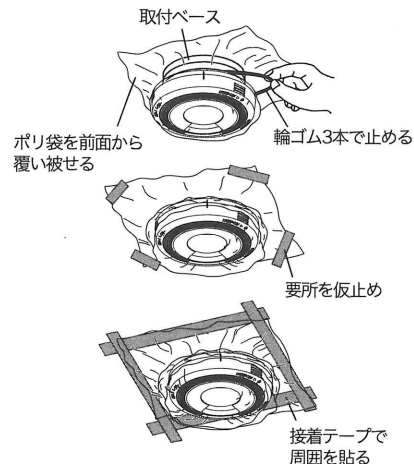
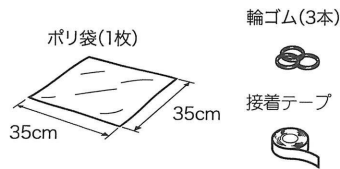
●接着テープ

養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、また、剥がすときに天井面を傷めないテープを選んでください。

【処置のしかた】

- ①ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、取付ベース部分を輪ゴムで止めてください。
輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかり止めてください。
- ②ポリ袋と天井の隙間から噴射ガスが侵入するのを防ぐため、ポリ袋の端を接着テープで天井面に貼り付けてください。
要所をテープで仮止めしてから、周囲を貼ってください。ただし、天井面などの状況により貼り付けができない場合は、①のみの処置でも一定の効果があります。

※ポリ袋と天井面の間に隙間ができないように、接着テープを貼ってください。特に、ポリ袋がしわになっている部分に注意してください。



2 噴霧式殺虫剤を噴霧する

以下のようなときは、ポリ袋で覆っても警報音が鳴ることがあります。
噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に連絡しておいてください。

- 部屋の広さ比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。
必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
- 噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。
警報器の真下は避けてください。
- ポリ袋と天井面の間に隙間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。
- 警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。
ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
- 経年変化によって、ガス検知器が敏感になっているとき。

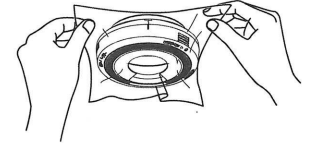


3 ポリ袋を取り外す

噴霧が終わり、換気した後、忘れずにポリ袋を取り外してください。

おねがい

接着テープを外すときは、天井面を傷めないように慎重に行ってください。



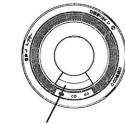
点検方法について

日常の点検

日常、警報器の緑(電源)ランプが点灯していることを確認してください。

この警報器は、故障診断回路が働いており、電氣的に正常稼働を確認した場合に緑(電源)ランプが点灯する仕組みになっています。

※緑(電源)ランプが消灯、高速点滅している場合は、警報器の故障が考えられますので、ガス事業者に連絡してください。(P19『故障かな?と思ったら』を参照ください。)



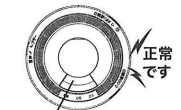
緑(電源)ランプ

定期点検

毎月1回を目安に、警報器が正常に動作していることを確認してください。

《定期点検のしかた》

- ①警報停止スイッチを約1秒間押し「ピッ」と鳴ったらすぐに手を離してください。
- ②ランプが点灯した後に「正常です」と鳴ることを確認してください。
※万一、異常があれば「故障です 販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。
※警報停止スイッチの操作については、電源を入れてから4分間は動作が異なります。詳しくはP30「警報ランプと警報音の確認」を参照ください。



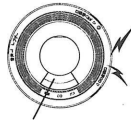
警報停止スイッチ

⚠ 警告

- 点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。
警報器の破損や火災の原因になります。
- 点検をするときは、必ず安定した踏み台を使って行ってください。
転倒してけがをする恐れがあります。

〈連動確認のしかた〉

- ① 警報停止スイッチを約3秒間押し続けると「ピッピッ」と開始音が鳴り、緑(電源)ランプが点滅を開始します。
- ② 警報停止スイッチを離すと下表のように作動することを確認してください。(外部出力信号が1分間出力されます。有電圧は12Vが出力されます。)
- ③ 1分後に「ピー」と終了音が鳴り、監視状態(緑(電源)ランプ点灯)に戻ります。
※1分以内に点検を終了したい場合は、警報停止スイッチを押すと「ピー」と鳴り、即時に終了します。



警報停止スイッチ

動作順	音声内容	ランプ			有電圧出力(12V)
		緑(電源)	黄(CO)	赤(ガス)	
1	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか ブザー設定時:ウーウー ピッピッピッピッ	点滅		点灯	ON
2	ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください ブザー設定時:ウーウー ピッポッピッポッ	点滅	点灯		ON
3	無音	点滅	点灯	点灯	ON

警告

- 点検時、決してライターなどの炎をあてないでください。警報器の破損や火災の原因になります。
- 点検をするときは、必ず安定した踏み台を使って行ってください。転倒してけがをする恐れがあります。

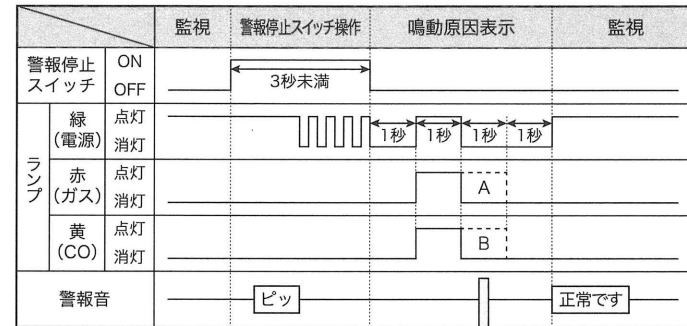
注意

- 外部機器(マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等)が作動しますので、連動確認機能は操作される場合はご注意ください。
- マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を行ってください。

取り扱いかた

警報器が鳴動した履歴がある場合、下記の方法で過去10日以内に発生した警報の種類を確認することができます。

- ① 監視時(電源投入から4分以降)に警報停止スイッチを押し「ピッ」と鳴ったらすぐに手を離してください。
- ② 全てのランプが約1秒間消灯した後、約1秒間点灯します。
- ③ 鳴動の履歴がある場合は、過去10日以内に警報したランプがさらに約1秒間点灯します。(タイミングチャートのA、Bを参照ください)
※鳴動の履歴が無い場合は、ランプ1秒点灯は動作しません。
- ④ 緑(電源)ランプが点灯状態となり、「正常です」を発した後、監視状態となります。



警報履歴表示により最後に発生した警報のランプが1秒点灯します。

	警報履歴	赤(ガス警報)ランプ	黄(CO警報)ランプ
A	ガス警報	1秒点灯(計2秒)	消灯
B	CO警報・CO注意報	消灯	1秒点灯(計2秒)
-	警報履歴なし	-	-

- 上記のランプ表示動作は、最新1回のみの警報履歴をお知らせしているものです。
- 警報履歴は警報解除から約10日間経過した場合、消去されます。

取り扱いかた

故障かな?と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
<p>緑(電源)ランプが消灯している。</p> <p>警報器が正常にもかかわらず、外部機器が鳴る。</p>	<p>警報器が取付ベースにしっかりと差し込まれていますか。</p> <p>電源ブレーカーが切れていませんか。</p> <p>停電していませんか。</p>	<p>警報器を取付ベースに差し込んでください。</p> <p>ブレーカーを入れてください。</p> <p>停電でなければ、警報器の故障もしくは取付ベース内部の断線、誤配線などが考えられますので、ガス事業者に連絡してください。</p>
<p>警報器が温かくなっている。</p>	<p>—</p>	<p>通電により、センサ部を加熱しています。異常ではありません。</p>
<p>緑(電源)ランプが高速点滅している。</p>	<p>「ピピピピピ 故障です」の故障音が鳴っていませんか。</p>	<p>故障ですのでガス事業者に連絡してください。</p> <p>警報停止スイッチを押すと故障音を約36時間停止できます。</p>
<p>ガスもれ、COの発生ではないのに、赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴る。</p>	<p>原因を調べてください。(P11参照)</p> <p>ガス機器の異常が考えられます。</p> <p>ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。</p>	<p>ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅や警報音が止まります。鳴りやまない場合はガス事業者に連絡してください。</p> <p>ガス機器の点検を受けてください。(有償)</p> <p>それらの機器も点検を受けてください。</p>
<p>電源を入れたときに、赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが長く点灯する。</p>	<p>10日以内に警報を発していませんか。</p>	<p>鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。(P18参照)</p>
<p>緑(電源)ランプが遅い点滅をしている。(電源を入れたときや、警報停止スイッチを押したときに「ピピ」有効期限が切れています。販売店に連絡してください)と鳴る。)</p>	<p>警報器の有効期限シールに記載されている有効期限が過ぎていませんか。</p>	<p>有効期限が過ぎていれば、ガス事業者に連絡してください。(P6参照)</p>

取り扱いかた

アフターサービスについて

- この警報器は、お取付け後5年間の無償保証付です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく作動しないことが判明した場合には無償でお取り替えいたします。ただし保証書記載の適用除外の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。
- この警報器の有効期限は、お取付け後5年間です。有効期限とは警報器の性能を維持できる期間であり、5年を経過したものは、規定のガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。
- 保証書に取付け年月日及び販売店名の記入のないものは無効となることがありますので、お取付け時にご確認ください。
- 保証書は大切に保管してください。
- 作動点検をご希望の場合には有償にて点検いたします。
- 警報器の有効期限が過ぎたときは、ガス事業者までご連絡ください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、ガス事業者または最寄りの矢崎エナジーシステム株式会社までご連絡ください。
- 引越しやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、ガス事業者までご連絡ください。

廃棄について

- お買い上げいただいた警報器の廃棄
一般の不燃ゴミとして廃棄できますが、廃棄方法は各自自治体の指示に従ってください。不明な点は、ガス事業者までご連絡ください。

その他

仕様

項目		仕様
型番 (商品名)	YF-765 型 (ガス・CO 警報器, 家庭用・業務用兼用)	
対象ガス	都市ガス (空気より軽い 12A・13A ガス用) 燃焼排ガス中のCO	
検知方式	都市ガス	接触燃焼式
	燃焼排ガス中のCO	電気化学式
ガス警報機能・CO警報機能	都市ガス	ガス警報 作動条件 *爆発下限界濃度の1/4の都市ガスに対し60秒以内に警報 表示・発報方式 赤(ガス警報)ランプ点灯 音声合成警報音
		ガス注意報 作動条件 ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報 表示・発報方式 赤(ガス警報)ランプ点滅 発報音無し
	燃焼排ガス中のCO	CO警報 作動条件 550ppmのCOに対し5分以内に警報 表示・発報方式 黄(CO警報)ランプ点灯 音声合成警報音
		CO注意報 作動条件 300ppmのCOに対し10分以内に注意報 表示・発報方式 黄(CO警報)ランプ点滅 黄(CO警報)ランプ点滅が約5分継続すると音声合成警報音
外部出力信号	有電圧出力 2段階有電圧2線式 (監視時・CO警報時 DC6V、電源OFF時・故障診断時 0V、ガス警報時 DC12V)	
一般財団法人 日本ガス機器検査協会 (JIA) 都市ガス用ガス警報器検査規程 認証合格品		
共通仕様	警報音量	70dB/m以上
	電源	DC24V(許容電圧範囲: 17~40V)
	消費電力	監視時 約1.2W 警報時 約1.4W
	付属機能	通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能、鳴動原因表示機能、音声/ブザー切替え機能
	使用温度範囲	0°C~+50°C (結露しないこと)
寸法・質量	φ120×32mm 約160g	
付属品	取扱説明書 (保証書付) (本書) ×1	

* 爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界とって、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。
※ マイコンメーターと接続する場合は、別売の警報器アダプターが必要になります。

その他

■ 施工される方へ

施工される方へのお願い

警告



本取扱説明書を熟読の上、指定された方法を遵守して取付を行ってください。



警報器を設置する前に、警報器の種類、形式等が指定を受けたものであることを確認するとともに設置場所の選定についてはお客さまとよく相談して決めてください。



お客さまへ引き渡す際には、必ずお客さま立会いのもとで取扱説明書記載の各種点検を実施してください。なお、作動不良の場合は交換してください。



取付け・点検終了後に「お客さまへのご説明内容」「お客さまへの周知事項」をお客さまに説明してください。(P31参照)

注意



取り付ける警報器が空気より軽い12A・13Aガス用(CO警報機能付き)であり、本体に異常のないことを確認してください。



警報器には、落下等の強い衝撃を与えないように取扱いには注意してください。



本体正面の有効期限シールに、お取付け日から5年後の有効期限を西暦年月で記入してください。



有効期限を超過して交換した警報器の廃棄処理について
 ・一般廃棄物として処理を行わず、産業廃棄物として処理してください。
 本製品には、一般廃棄物として焼却した場合、有毒ガスが発生する恐れのある材料が含まれています。
 ・決められた処理ルートがある場合には、それに従って処理してください。

取り付け前の確認

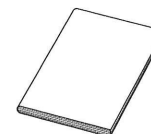
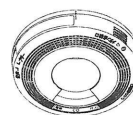
警報器の確認

取り付ける警報器が空気より軽い12A・13Aガス用 (CO警報機能付き) であり、本体に異常のないことを確認してください。

梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

- 本体 …1 個
- 取扱説明書(保証書付)…1 冊



施工

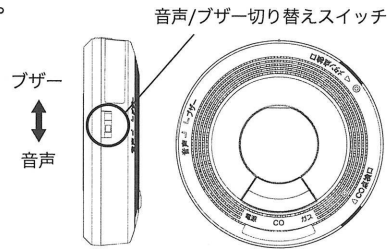
警報音(音声/ブザー音)の切り替え

本警報器は、警報音を音声またはブザー音に切り替えることができます。(出荷時：音声設定)
お客さまのご要望があった場合に切り替えてください。

<警報音の切り替え方法>

警報器側面の音声/ブザー切り替えスイッチを設定したい警報音の文字側へスライドしてください。

音声設定の場合：「音声」側
ブザー設定の場合：「ブザー」側



取り付け位置の確認

お願いとご注意

- 警報器の取り付けは、必ずこの取扱説明書と「ガス機器の設置基準及び実務指針」(一般財団法人 日本ガス機器検査協会刊)に従って行ってください。

⚠注意

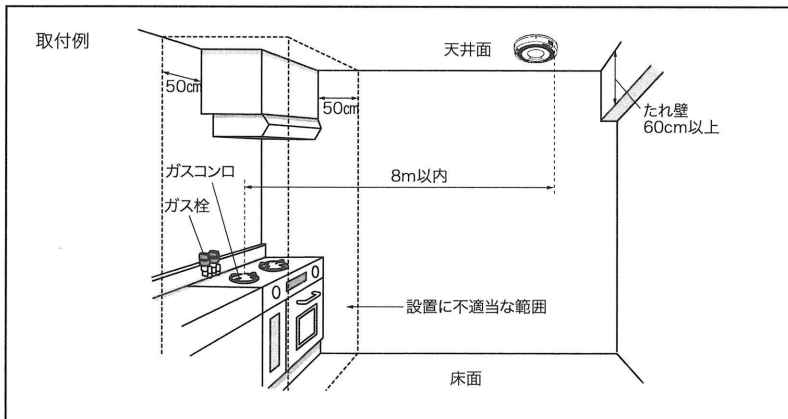
正しい取付位置に取り付けてください。

取り付けられない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

- ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- ガスやCOが滞留しやすい位置で、緑(電源)ランプの確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。
- ガス、COを検知しようとするガス機器(一定の位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓)から、水平距離で8m以内に取り付けてください。
- 天井面が60cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取り付けてください。



必ず行う



<取り付けられない場所について>

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けしないでください。

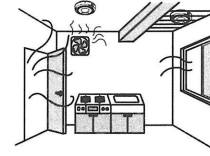
- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。

- 隙間風の入る場所。

警報が遅れたり、検知できないことがあります。



禁止

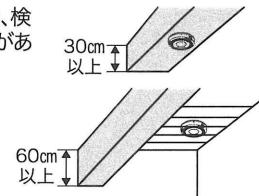


- 30cm以上(警報器含む)のたれ壁などの下。
- 60cm以上のたれ壁で区切られている場所。

警報が遅れたり、検知できないことがあります。



禁止



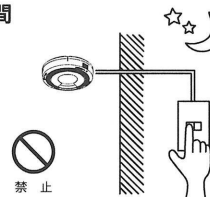
- ビルの給湯室など夜間電源を切る場所。

- 使用時でないと電源を入れない場所。

警報器としての機能を果たしません。



禁止

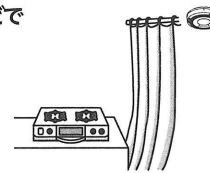


- カーテンウォールなどで仕切られた場所。

警報が遅れます。



禁止

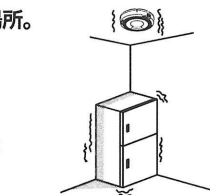


- 振動、衝撃の激しい場所。

センサ故障の原因になります。



禁止



- 屋外。

屋外用ではありません。



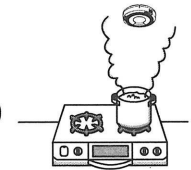
禁止

- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙及び調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。

センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。



禁止

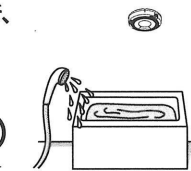


- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所。

感電や電氣的故障の原因になります。



禁止

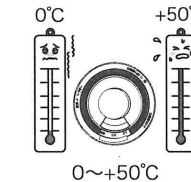


- 温度が0~+50°Cの範囲をこえる場所。

警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。



禁止

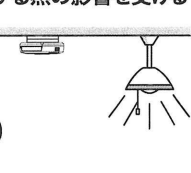


- 照明器具などから発生する熱の影響を受ける場所。

センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。



禁止



- 食器棚などの上部。

警報が遅れます。



禁止



- 工業用。

家庭用・業務用です。工業用ではありません。



禁止

電気工事要領・取付け方・外部機器への連動接続

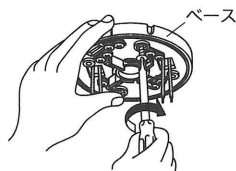
取付ベース(別売品)を取り付ける場合は「電気工事要領」から、すでに取付ベースが取り付けられている場合は「有効期限の記入」から参照してください。

電気工事要領

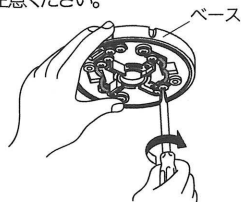
- ①取付ベースのカバー取付けネジをゆるめてベースカバーを外します。



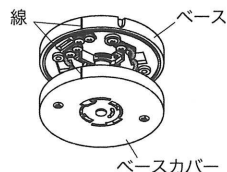
- ②ベースを付属の木ネジ(取付ベースに同梱)で天井に取り付けます。このとき電源用配線、外部出力用信号線を各々の穴に通します。



- ③電源用配線、外部出力用信号線を結線します。
※外部出力用信号線には極性がありますので、ご注意ください。



- ④ベースカバーを元通り取り付けます。
※下図のようにベースとベースカバーの線を合わせるとう位置決めしやすくなります。

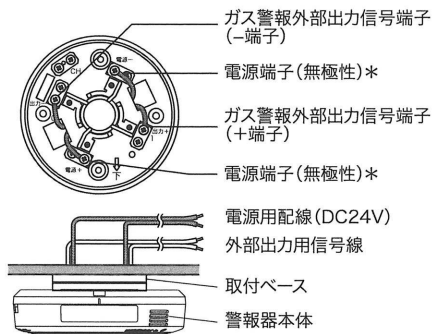


⚠注意

- 取付ベースの電気工事は専門の電気工事士に依頼してください。
一般の方が工事をすることはできません。
- 金属管またはボックス内に電源用配線と外部出力用信号線を同一配管される場合、外部出力用信号線は600V絶縁電線で線径φ1.25以上のものをご使用ください。
- 端子の配置はP26「配線方法」に記載していますので、電源用配線(DC24V)と外部出力用信号線は誤配線のないように正しく結線してください。

誤結線しますと内部回路が破損しますので、ご注意ください。
また、外部出力用信号線には極性がありますので、正しく接続してください。

配線方法



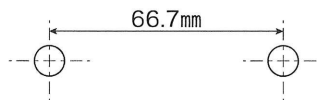
*取付ベース内に電源+、電源-の表示がある場合でも、電源用配線は無極性でお使いいただけます。

⚠注意

- 電源用配線、外部出力用信号線の線抵抗による電圧降下を考慮し、配線の太さ・長さを選定してください。
特に電源用配線については、警報器の電源電圧(取付ベースの電源端子部)がDC(AC)17V(警報器が動作できる最低電圧)以上となるような太さ・長さにしてください。
※警報器の電源電圧がDC(AC)17Vを下回ると、警報器本体や連動機器が正常に動作しない場合があります。
- 外部出力用信号線には極性がありますので、配線の際はご注意ください。
- 外部出力用信号線は接続ミスをなくするため+-の色別をしてください。

取付ベースの取り付け

<取付ベースの取付ピッチ>



<取付適合部品>

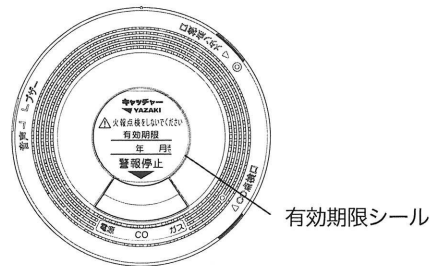
- 適合ボックス
JIS C8340 アウトレットボックス
JIS C8340 コンクリートボックス
- 適合ボックスカバー
JIS C8340 丸孔カバー
- 取付用部品
ベース取付け用木ネジ 4x30(2本)

有効期限の記入

この警報器の有効期限は、取り付け後5年間です。
必ず、警報器本体に貼ってある「有効期限シール」に有効期限の年月を記入してください。

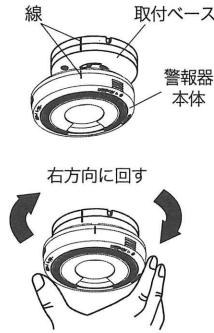


必ず行う



警報器本体の取り付け

- ①取付ベースに警報器本体を合わせ、差し込んでください。
※右図のように警報器と取付ベースの線を合わせると位置決めしやすくなります。
※取付ベースは方向性がありますのでご注意ください。
- ②警報器本体を、止まる位置まで右に回して(時計回り)確実に固定します。
※警報器が確実に固定されているか確認してください。



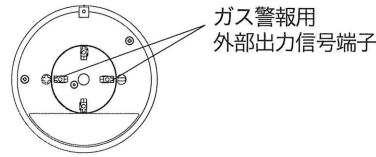
⚠注意

- 警報器の取り付け時に、警報器を落とさないように注意してください。
センサ回路などが故障し、正常に作動しない恐れがあります。
- 警報器は過度に回しすぎないように注意してください。
破損の原因になります。

外部機器への連動接続

<ガス警報用外部出力信号>

- ・有電圧 0-6-12V、有極性
- ・警報器背面の端子から取付ベースを経由して接続



■外部機器との連動対応表

上段 ○：連動可能
×：連動不可能
△：警報器アダプターが必要

下段 警報器が鳴り始めてから、各機器が作動するまでの遅延時間です。
この遅延時間は連動機器によって異なります。

連動機器	警報の種類 外部出力信号	警報時の動作	ガス	CO
			DC12V	DC6V
戸外ブザー		警報音が鳴ります	○	×
			45秒	
マイコンメーター		ガスを止めます	△	×
			45秒	
住宅情報盤		警報表示及び警報音が鳴ります	○	×
			45秒	
無線連動装置		ガスを止めます	○	×
			60秒	
遮断弁操作盤類		ガスを止めます	○	×
			45秒	
集中監視盤		警報表示及び警報音が鳴ります	○	×
			※1	

※1 機器の設定により、遅延時間が異なります。

<ご注意>

- 外部出力信号は極性がありますので、外部機器と接続される場合はご注意ください。
- 外部機器への接続は、各機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づき行ってください。
- 遅延時間は、一般的な値です。詳しくは各機器の取扱説明書をご参照ください。
- 外部連動については、ガス事業者または最寄りの矢崎エナジーシステム株式会社にご相談ください。

外部機器と連動する場合の注意点及び点検方法

- 外部機器と接続する場合は、P25「電気工事要領」、P26「配線方法」に基づいて行ってください。
- 下記の場合は、外部機器の取扱説明書ならびに設置工事説明書に基づいて連動点検を必ず実施し、外部機器が正常に作動することを確認してください。
 - ①新たに警報器を外部機器と連動する場合。
 - ②警報器を交換する場合。
 - ③外部機器を取り付け・交換する場合。
 - ④配線を修理・交換する場合。
 実施しなかった場合、外部機器が正常に作動しない恐れがあります。
- 警報器の外部出力動作を確認する場合は、P17「外部機器との連動確認機能について」またはP29「作動点検」に基づいて行ってください。

取り付け後の確認・点検(お客さま立会いのもとで実施)

この警報器は、通電開始後の約60秒間でセンサを含めた内部回路が正常であることを確認する自動初期点検機能を有しています。

製造から取付までが1年以内の警報器(警報器の製造ラベル(B)に記載の製造年月から取付年月までが1年後の同月まで)で、以下の条件を満たす場合は、「作動点検」は不要です。「自動初期点検機能の確認」のみを行ってください。ただし、お客さまから要望があった場合は、P29「作動点検」を行ってください。

- 新規取付時(未入居の新築住宅を含む)
- 更新時

以下の場合、P29「作動点検」が必要です。
「自動初期点検機能の確認」の後に「作動点検」を行ってください。

- 製造から取付までが1年を超えた警報器

自動初期点検機能の確認

警報器本体を取付ベースに差し込んでください。

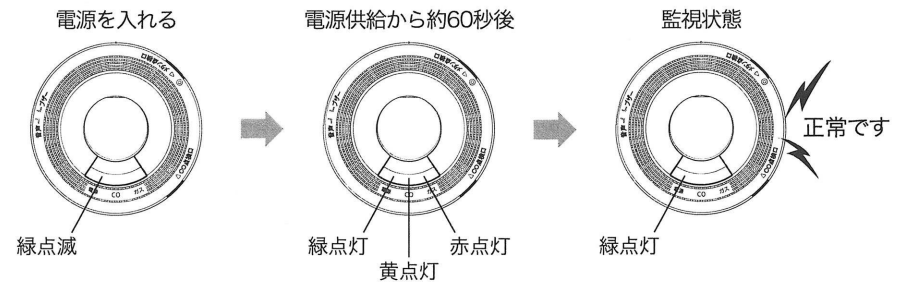
緑(電源)ランプが点滅し、約60秒後にランプが全点灯した後、正常であれば、「正常です」と鳴って緑(電源)ランプが点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。

万一、異常があれば、「故障です 販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。

※赤(ガス警報)ランプが点滅することがありますが、しばらくすると消灯します。

※緑(電源)ランプ点滅中は作動点検を実施しないでください。

※通電開始から30日経過以降は、「正常です」と鳴らない仕様もあります。



作動点検

おねがい

この警報器は作動点検をスムーズに行うため、電源投入後4分間に限り、採取ガスに対して反応しやすい状態が保持されます。必ずその間に作動点検を行ってください。ただし、通電開始後の緑(電源)ランプが点滅している間(60秒間)は、ガスをかけてもセンサが反応せず、警報を発しないため、作動点検を行わないでください。
上記時間を過ぎると、採取ガスに対して反応しやすい状態は解除されます。その場合は警報器を取り外し、再度取付ベースに差し込み直してから行ってください。

〔準備するもの〕

- 点検ガス採取器(別売品)
- ガスコンロなど炎からガスを採取できるもの



⚠注意

アルコールを主成分とした点検ガス及びライター式の点検ガス(生ガス)は、使用しないでください。

センサ異常またはセンサ故障の原因になったり、警報状態からの復帰に大変時間がかかることがあります。

ガス警報機能とCO警報機能の点検方法

- ①周囲に引火物などが無いことを確認してからガスコンロまたはガスライターを点火し、炎の高さをガスコンロでは約5cm、ガスライターでは約4cmに調節します。

おねがい

炎が小さいとガスが採取しにくくなります。
※ガスコンロの種類により、炎の高さを5cmに調整できない(5cm未満になってしまう)場合は、コンロの火力を最大にしてください。

- ②点検ガス採取器の容器部分を十分圧縮して、採取管の先端をガス採取する場合は、ガスコンロのガス吹き出し口(炎の根元部分)へ、COを採取する場合は、炎の外炎の中央部へ持っていくます。
- ③容器の圧縮をゆっくり(約3秒程度)ゆるめ、炎の中からガス成分を吸引します。

おねがい

長時間加熱すると、ガス採取器が破損することがありますので注意してください。

- ④点検ガスの採取が終わったら、速やかに点検ガス採取器を炎から離し、ガスコンロまたは、ガスライターの炎を消してください。

⚠警告

採取したガスは、警報器の点検以外には使用しないでください。直接吸引するとCO中毒を起こす恐れがあります。

⚠注意

炎から出した直後の採取管は、先端が非常に熱くなっています。絶対に触らないでください。やけどをする恐れがあります。



<ガスの採取位置>

炎の高さは約5cm(※)



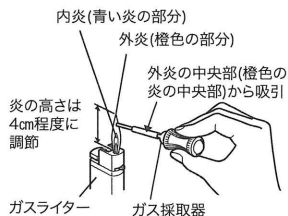
<COの採取位置>

炎の高さは約5cm(※)



(注)ガス警報点検とCO警報点検とでは、点検ガスの採取位置が異なります。

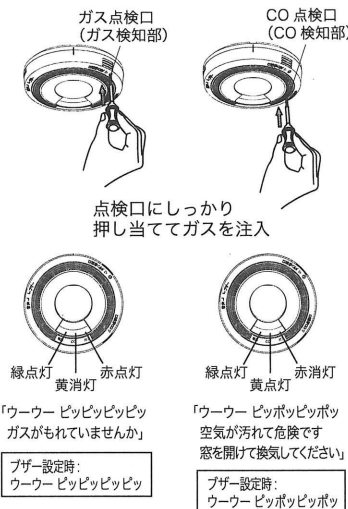
- ガスライターで採取する場合
COは、下図の様にガスライターでも採取が可能です。(ここで採取した点検ガスは、CO警報点検のみ使用できます。ガス警報点検には使用できません。)



- ⑤採取管の先端部分の温度が下がるまで(約30秒程度)待ってください。
- ⑥採取管の先端部分をガス警報点検の場合は、ガス検知部の点検口、CO警報点検の場合は、CO検知部の点検口にしっかり押し当てて、容器を圧縮し、採取したガスをゆっくり(約3秒程度)注入します。
- ⑦ガス警報点検の場合は、赤(ガス警報)ランプが点灯し、ガス警報音「ウーウー ピッピッピッピッ」ガスがもれていませんか」、CO警報点検の場合は、黄(CO警報)ランプが点灯し、CO警報音「ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」が鳴ります。
- ⑧ガスやCOがなくなると、赤(ガス警報)ランプと黄(CO警報)ランプが消灯します。

※電源を入れてから4分間は、ガスがなくなり監視状態に戻っても有電圧出力(12V)が保持されます。この間に警報停止スイッチを押しても出力は解除されません。電源投入から4分間が経過しますと通常の状態に戻ります。外部機器の作動を解除するときは、いったん警報器を取り外してください。

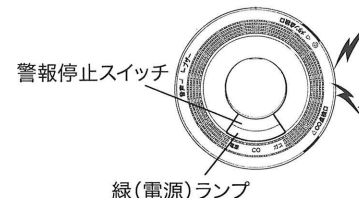
<ガス警報点検> <CO警報点検>



警報ランプと警報音の確認

警報停止スイッチを押すことによって警報ランプと警報音の確認を行なうことができます。

- ①警報停止スイッチを約1秒間押すと「ピッ」と鳴り、緑(電源)ランプが点滅します。
- ②「ピッ」と鳴ったらすぐに手を離し、以下の動作を確認してください。(通電開始後の経過時間によって動作が異なります。)
- ③すぐに点検を終了したい場合は、警報停止スイッチを再度約1秒間押してください。「ピー」と鳴り、緑(電源)ランプが点灯し、監視状態に戻ります。



通電開始後の経過時間	動作順	音声内容	ランプ		
			緑(電源)	黄(CO)	赤(ガス)
4分以内	1	ウーウー ピッピッピッピッ ガスがもれていませんか プザー設定時:ウーウーピッピッピッピッ	点滅		点灯
	2	ウーウー ピッポッピッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください プザー設定時:ウーウーピッポッピッポッ	点滅	点灯	
	3	ピー	点灯		
4分を超える	-	正常です	点灯	※1	※1

※1 鳴動の履歴がある場合は、過去10日以内に発生した警報のランプが約1秒間点灯します。(鳴動原因表示機能)

(注)この点検は監視中に行うことができます。(電源を入れてから約60秒間、緑(電源)ランプが点滅している間は、この点検はできません)

お客さまへの説明について

おねがい

お客さま立会いのもとで点検が終わったら、必ずお客様に以下の説明を行いご理解を得てください。



必ず行う

お客さまへの説明内容

- ① 警報動作と自動初期点検機能の結果及び警報ランプと警報音、外部機器との連動の確認結果の説明。
作動点検をした場合は、作動点検結果の説明。
- ② 取扱説明書を必ず読んでいただくことと、保管していただくことをお願い。
- ③ 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
 1. ガス警報の内容(赤(ガス警報)ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と、警報時にとるべき処置の説明。(P8～11参照)
 2. CO警報の内容(黄(CO警報)ランプ点滅・点灯、音声合成音の確認)と、警報時にとるべき処置の説明。(P8～11参照)
 3. ガス警報、CO警報の同時警報の内容(赤(ガス警報)ランプと黄(CO警報)ランプの点滅・点灯、音声合成音の確認)と、警報時にとるべき処置の説明。(P9～11参照)
 4. 部屋の外にいて、ガス警報、CO警報に気づいたときにとるべき処置の説明。(P10参照)
 5. 誤報が発生する原因と処置の説明。(P11参照)
 6. 警報停止スイッチ操作の説明。(P6,11,17,18参照)
 7. 警報器の定期点検方法の説明。(P16参照)

お客さまへの周知事項

- ① 警報器の有効期限(本体貼付の有効期限シールに表示)と保証期間5年。
- ② 警報器の移設禁止(移設依頼の連絡先)。
- ③ 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱っていただく。
- ④ 警報器の分解禁止。
- ⑤ 引越時の処置。
- ⑥ 故障・異常時の連絡先。

施工

保証書

製品名 ガス・CO警報器 **キャッチャー**

このたびは、ガス・CO警報器 **キャッチャー** をお取り付けいただき、まことにありがとうございます。

この保証書は、本製品の保証期間内において取扱説明書に基づいた正常な使用状態で異常、故障が発生した場合、本書記載内容に無償点検あるいは、無償取替えを行うことを、お約束するものです。

形式	家庭用・業務用兼用 YF-765 (空気より軽い12A・13Aガス用)		
製造番号			お取付年月日
保証期間	お取付年月日より	5年間	年 月 日
お客さま	〒		
	ご住所		
販売店	お名前	電話	()
	住所・店名		
		電話	()

保証規定

1. 表記の保証期間内に正常なご使用状態において、異常が認められた場合には、お申し出により無償点検あるいは、無償取替えをいたします。
2. 次のような場合には、保証期間内でも有償点検あるいは、有償取替えとなります。
 - ① 本製品に異常が認められない場合。
 - ② 取扱説明書に基づかないで使用し、故障または損傷した場合。
 - ③ 火災・天災・異常電圧・異常温度などの不可抗力による破壊または損傷。
 - ④ 取付位置が浴室・屋外・高温多湿など著しく不適当な場所で使用した場合の故障または損傷。
 - ⑤ お取り付け後、分解や改造などをされた場合の故障または損傷。
 - ⑥ お取り付け後の取付場所の移動、落下などによる故障または損傷。
 - ⑦ 水や煮こぼれなどの液体、または動植物による故障または損傷。
 - ⑧ 本保証書のご提示がない場合。
 - ⑨ 本書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
3. 本書は日本国内のみにおいて有効です。
4. なお、この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

お願い

- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 本警報器の保証期間は お取付年月日より5年間です。
警報器は保安機器であり、お取り付け後5年を過ぎたものは、是非新しいものとお取替えください。

お取替え予定日 年 月 日

矢崎エナジーシステム株式会社

発売元 発売元(本社)
及び 〒108-0075 東京都港区港南一丁目8番15号Wビル7F
製造元 製造元(天竜工場)
〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL053-925-4111
(お問合わせ先) ガス機器事業部
〒431-3393 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島23番地 TEL053-925-4511

YAZAKI